

## 初春のご挨拶

会長 鈴木 實

謹んで初春のお慶びを申し上げます。新しい年が会員の皆さまとご家族の皆さまにとつて佳き年となりますようお祈り申し上げます。本年の干支は癸卯

(みずのと・う)

「癸」は物事の終わりと始まりや花咲く直前を意味します。

「卯」は門が開いている様子を連想させることから、

冬の門が開き、外へ飛び出すさまを表していることです。

「癸卯」の本年はその意の通り始める年」としたいものです。

今、世界に目を転じますと想定以上に長く続くコロナ禍や政治の分断、長期化するロシア・ウクライナ紛争など不確実な状況が続く中、世界経済は、コロナ危機から回復傾向をたどってきたものの、昨年後半から、主要



第39号



各国の高インフレと金融引き締め政策で景気の回復ペースは鈍化しております。いずれにしても、世界は今、過去数十年の間、当然と考えられてきたことや経験値が必ずし通用しない大きな環境変化が次々と起こる、極めて不透明な状況となつてきております。

我が国としても、今年はこうした変化に対応しつつ新たな社会・経済・産業の在り方に向けて、少子高齢化、気候変動、デジタル化への対応等の様々な構造課題に着実に取り組んで行くことが求められる重要な年に成るかと思います。

さて、東京福島県人浜通り会の状況ですが、直近の三年間は、コロナウイルス感染防止の観点から会員の皆さまとの集合行事は見合わせざるを得ない苦渋の

期間を送ってきました。また、平成二十三年三月に発生した百

年に一度、千年に一度と云われる東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、当会は被災ふるさと浜通り地方の人々の支援に特化。会長を神奈川県内へ避難して来られた皆様の支援団体代表を兼務させ、会員の皆さまからは、募金に次ぐ募金をお願いし、皆さまには大変なご負担・ご厄介をお掛けしてまいりました。

改めて会員の皆様のご厚情に心より御礼を申し上げます。本年度こそコロナウイルスの感染予防を十分に確保して、会の本来あるべき姿に復元いたしたいと思います。

◎会員の皆さまの人生を豊かにする楽しく有益な活動を行います。

◎福島県出身、浜通り地方出身の皆さまの横の繋がりを一層緊密に実のあるものにする施策を行います。

◎新会員のご加入促進に全力を傾注し、会の永続性を順守いたします。

皆さま本年もご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



横浜港大桟橋へ接岸した  
クイーン・エリザベスII世号

双葉町合併七十周年記念式典に出席して 会長 鈴木 實 双葉町合併七十周年記念式典は令和四年十一月五日双葉町産業交流センターに於いて行われ、当会が（東京福島県人浜通り会有志と仲間たち）名称で寄贈の絵画『甦れ！ふるさと双葉町』が感謝され、表彰を受けることになり、当会長が代表として招かれ表彰状受領の栄に浴して参りました。

絵画贈呈の出資に、当会員と共にご参加下された次の方々

【国際ロータリー第二七七〇地区（埼玉県）】

【かながわ避難者と共にあゆむ会（神奈川県）】

に対し心より感謝申し上げます。有り難うございました。

以下の【】内文章は伊澤史朗町長の合併七十周年の挨拶文。

（注）なお、式典時伊澤町長は手術後で副町長が代読した。

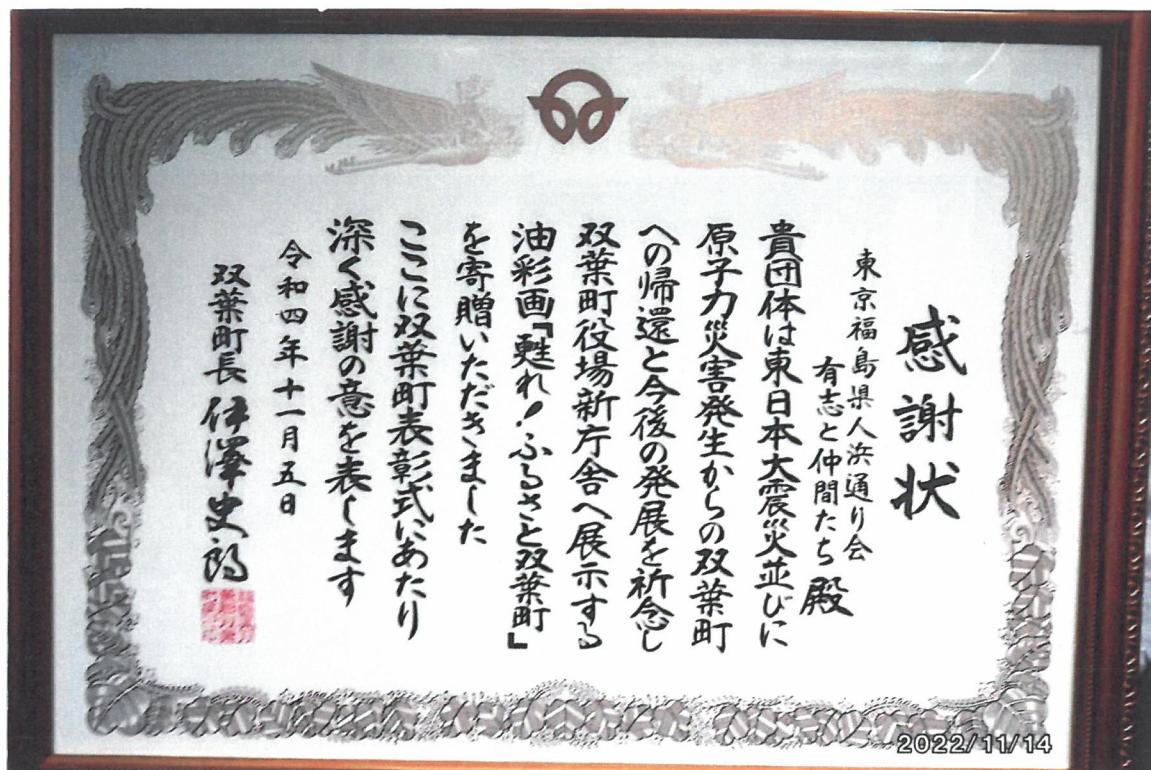
【双葉町は一九五一（昭和二十六）年四月一日モデル合併町村第一号として旧新山町と旧長塚村が、県下に先駆けて合併して本年70周年記念式典の開催という節目の年を迎えることが出

きました。合併当初は、県内でも未開発地域だった当町が、先人の方々の並々ならぬ英知と努力により、昭和四十二年、原子力発電所の着工以来、わが国有数の電源供給所在町として重要な役割を果たすとともに飛躍的な発展を遂げて参りましたが、平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故と云うこれまで積み上げて来た歴史を搖るがす大災害により全町避難を強いられ、町域の九十五%が帰還困難区域とになりました。その後、平成二十九年五月の福島復興再生特別措置法の改正により特定復興再生拠点区域の避難指示解除が行われ、役場機能も双葉町内に戻すことが出来ました。



後列右から一人目が受賞の当会会長

に高めてまいりますので、引き続き双葉町の復興に  
向けてご協力を賜りますようお願ひいたします】  
表彰式は、双葉町職員の功労表彰六名の方、  
永年勤続表彰四名の方の表彰に加えて一般から  
(七団体・名)が表彰され感謝状が授与されました。



2022/11/14

- ①福岡涉一様 郡山行政区長
  - ②高島 学様 細谷行政区長
  - ③木幡智清様 長塚一行政区長
  - ④惣成田デンタル様 富里市
  - ⑤大河原キミ子様 京都市
  - ⑥双葉工業㈱ 広島市
  - ⑦東京福島県人浜通り会有志と仲間たち 横浜市
- 記念式典は十時から正午まで行われ、午後からは記念アトラクションとして和合亮一詩人やフリーアナウンサーの大和田新さん、民謡歌手の原田直之さんほか、多彩な顔触れの皆さんの演芸で合併七十周年を祝賀しました。



左の写真は、  
令和4年12月21日福島県人会  
双葉町訪問団の一員として双葉町役場  
を訪れ、お元気になられた伊澤史朗町長  
とのツーショット。“甦れ！ふるさと双葉町”  
制作の新妻芳子画家。

# 第13回 ふるさとコミュニティinかながわ

11月19日「第13回ふるさとコミュニティinかながわ」が横浜波止場会館で開催されました。東北からの避難者交流会に40名の方々が集い、久しぶりに和やかな一日を過ごすことができました。



## 標葉せんだん太鼓保存会演奏



はるばる福島から演奏に来てくださいました。ふるコミュには2014年以来2回目。莊厳な和太鼓の響きに圧倒された時間でした。

主催:NPO法人かながわ避難者と共にあゆむ会  
共催:かながわ東北ふるさと・つなぐ会

双葉町の標葉せんだん太鼓保存会の皆様がご出場。会長の今泉春雄様や横山久勝様は福島県本宮市からの来賓。その他の方は、いわき市などから。会終了後、横浜中華街で交流を深める。

波止場会館近く中区にある聖光学院中学校・高等学校（中高一貫男子校・私立）の皆さんに吹奏楽器を演奏してもらいました。アルトサックス、テナーサックス・チューバなどによる名演。



## 聖光学院吹奏楽部 アンサンブル演奏

会場で日ごろの練習成果を披露する絶好の機会になりました。みなさん演奏を楽しんでいました。



## ダメじゃん小出さんの パフォーマンス

東北支援に携わって来られたダメじゃんさん。今回も彼のたのしい芸を披露していただき、会場は笑いの渦に包まれました。

平成26年8月ふるさとバス便に同乗頂き、福島県郡山市富田町（浪江町仮設の皆様）を慰問。避難の皆様の笑顔が昨日の様。



私（鈴木）が代表に祭り上げられ初めて当コミュニティに参加したのは平成25年3月9日の第2回からで会場もこここの波止場会館。

朝早い開会で客足が今一つ。

その様な訳で新旧両代表により長い長い「開会ご挨拶」



## ものづくり体験

5階大会議室で行い、事前予約された方々、たまたま覗きに来たという方など時間の切れ目なくみなさん工夫をこらしてクリスマスにちなんだ作品を作っていました。



## いけばな体験

午前午後で約20名が参加。いけばなの先生からアドバイスを伝授いただきながら参加者は思い思いの作品を作りました。

## お茶っこ歓談コーナー



久しぶりにお友達と会われる方、集まって誰かと楽しくおしゃべりしたいという方。あちらこちらで話に花が咲いていました。



## つなぐ会共催バザー

こんなにたくさん！というほど品々が集まり、見るだけでも楽しいバザーでした。ご寄付いただいたみなさま、ありがとうございました！

ご寄付の品々バザー売上は、共催「かながわ東北ふるさと・つなぐ会」の貴重な運営源。あゆむ会前代表も飛入りの売り娘。出演者にまで「押し売り」のところ。（注）朱書はあゆむ会前代表鈴木



吉田房人幹事長の逝去を悼む

会長 鈴木 實

よる懇ぶ会を行いました。参加者は次の方々。川久保格様、鈴木孝光様、久保田則男様、井上博明様、内山安之様、新妻芳子様、藤原成子様、東京福島県人会様から金子昌輝様、辺見輝夫様、戸松哲夫様の三名を含む皆様に故人を偲んで頂きました。

平成二十六年四月幹事長に就任、尚、同席に次の方々から寄贈品以来八年七カ月余の永きに亘り当会幹事長として会を支えて下さった吉田房人さんが昨年十一月逝去されました。享年八十四才。長女で喪主の塚田純子様のお話に依りますと、十月初旬に自宅で倒れ、発見が遅れ治療で意識は回復しましたが脳梗塞その他により、十一月六日に逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。

葬儀は、さいたま市南区白幡の「葬送空間はるか」に於いて、十一月十二日に家族葬で行われ、久保田・井上博・藤原の四名のみ参列させて頂きました。

後日、親しかった会員にお声を掛け、十二月十八日（日）の昼「居食処かわうち」にて会員に勤務した全国に展開の三社では、（下の写真、右手前が故吉田氏）

それぞれ営業業務を行つて参りました。そのため鹿児島県を除く全県を訪れたことがその後の営業活動に大いに役立つております。人は皆、生まれた土地柄県民性等に、良いにつけ悪いにつけ染まって成長しているので、初対面でも出身地をお伺いすることで良好な関係作りが出来ました。私は人が大好きで、友が出来易く、また友と交わることにより色々と教えて頂く機会が多く、より充実した人生を歩んで来ることが出来ました。

ありがとうございました。姉弟が在京のため、故郷の皆様とは疎遠に成りがちでしたが、会の皆さまとお付き合い出来る事は、懐かしい幼少の頃を想起させ、故郷の思い出を回顧させて頂けると楽しみにして居る次第でございます。

会員の皆様どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

【いわき市平菱川出身】

「本会を知ったのは四年前、高校同級生の猪狩誠君に入会を勧められた為です。私はいわき市平に生まれ、磐城高校を卒業後、東京の大学を経て、在京の会社に就職。十八才から故郷に戻ることなく、在京本社の三社を務め上げ、現在、いわき市に本社のある商社の東京営業所の立ち上げを三年前から行う昨今です。裏磐梯レイクリゾートにて



紅葉の裏磐梯神秘な五色沼

など自然探勝の旅

（下の写真、右手前が故吉田氏）

## 双葉町の復興と

双葉高校の復活を目指して

鈴木 孝光



令和5年1月15日

と名称を変更して延べ九十九年の歳月が経ち卒業生も一万七千余名の多きに至っております。

その間、双葉高校同窓生各位が地元双葉地方はもとより、社会の各方面に亘り活躍されております。

また部活動でも輝かしい歴史を築いて参りました。

特に硬式野球部では、県立高校では珍しく、甲子園に三回出場し二勝を挙げております。

双葉高校の立地する双葉町は、

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災とその後の原発事故により立入禁止地区となりました。

双葉高校の生徒たちは、

家族と共に避難している福島県各地でサテライト方式（福島南

高校、あさか開成高校、葵高校、磐城高校）により五月九日から

授業が実施され、平成二十四年四月に、いわき明星大学の校舎に集約されました。

この様な緊急異常事態の中で、

殆どの先生方や生徒は、家族と

もども着の身着のままの避難生

なり、学用品や鉛筆一本に

も事欠く現状で、全く動きが取

ります。

母校双葉高校は大正十二年四月「郷土発展の基盤は教育にあり」との地域の方々の高邁な見識のもと県立双葉中学校が設立され、その後昭和二十三年に双葉高校

れない状況を当時の校長先生が訴えておられましたので、早速「双高募金」として支部会員に声をかけ、四百六十四名の会員や東京福島県人浜通り会の鈴木会長始め各団体から多額の募金が集まりました。

募金は備品や勉学のための図書カード各種研修会などに使われたと聞いており、少しは母校に恩返しが出来たと一同安堵致しました。

その後、平成二十九年の三月に伝統ある双葉高校が、誠に残念ではありますが「休校」となりました。

その後、平成二十九年の三月に伝統ある双葉高校が、誠に残念ではありますが「休校」となりました。

最後の卒業生を送り出した時は、教職員や父兄、同窓生一同が涙ながらに、双高的復活・復興を堅く誓いました。

これから母校が復活するためには、長い年月が掛かります。

そのためにも東京梅檀会は、会員の方々が校歌を歌い継いでいることが必要と考えております。

これから双葉町の皆さんのが、近い将来に一日でも早く故郷に戻れるよう、私も町の復興事業や村の方の支援に尽力していきました。

今後とも東京福島県人浜通り会の皆様の一層のご支援ご協力を

切にお願い申し上げます。

私は双葉町の先祖代々の農家の長男として育ち、小中高一貫して双葉町の地で過ごしてきました。勉強そつちのけでの高瀬川

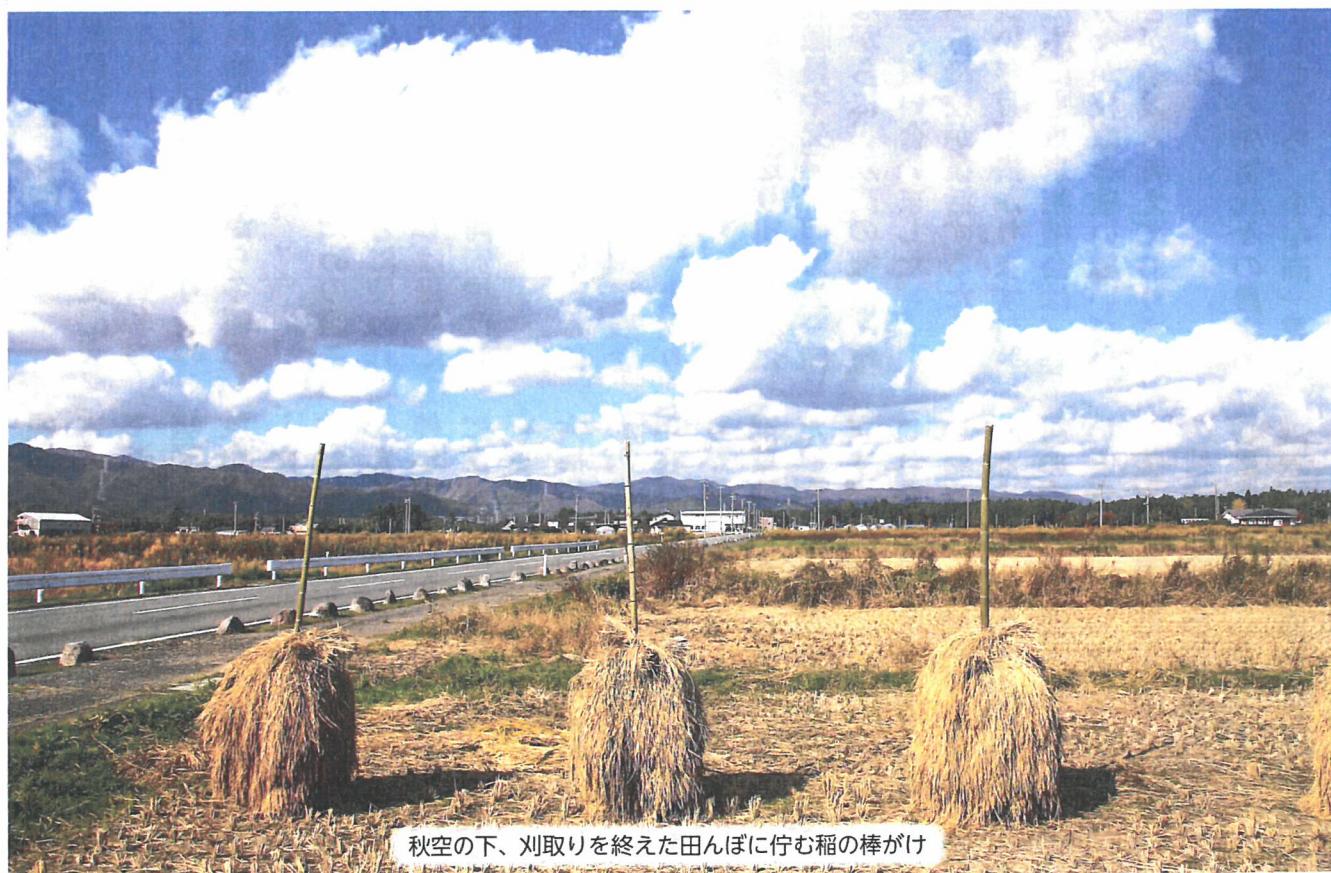


広報とみおか二〇二一年十一月号より

## とみおか写真館 Vol.68

とみおか写真館では、富岡町が復興していく様子や皆さんの思い出の場所などをお伝えします。

今回は、晚秋を迎えた町内の様子をご覧ください。



秋空の下、刈取りを終えた田んぼに佇む稻の棒がけ



撮影場所のリクエストをお待ちしているっぴ。  
みんなの思い出の場所や見たいところがあったら、企画課までメールしてっぴ！



問 企画課 広聴広報係

✉ tom0200-006@tomioka-town.jp



# 私たちの手で浪江を「未来」へつなぐ

## ふるさとの再生と創生へ

東日本大震災、原発事故による大きな被害を受けた浪江町は、将来にわたり安心して暮らせる『持続可能なまちづくり』の実現に取り組んでいます。

町民の帰還支援、移住定住施策や子育て支援策、働く場の確保に力を入れ、浪江町の復興が進んできました。

水素を利活用した水素エネルギー産業では世界をけん引し、「再生可能エネルギーの地産地消」を掲げる浪江町の復興にとって、水素はかかせないものとなりました。

そこで、水素とは何か、浪江町は水素をどのように利活用していくのかをご紹介します。

**広報なみえ  
—O—年十月号より**

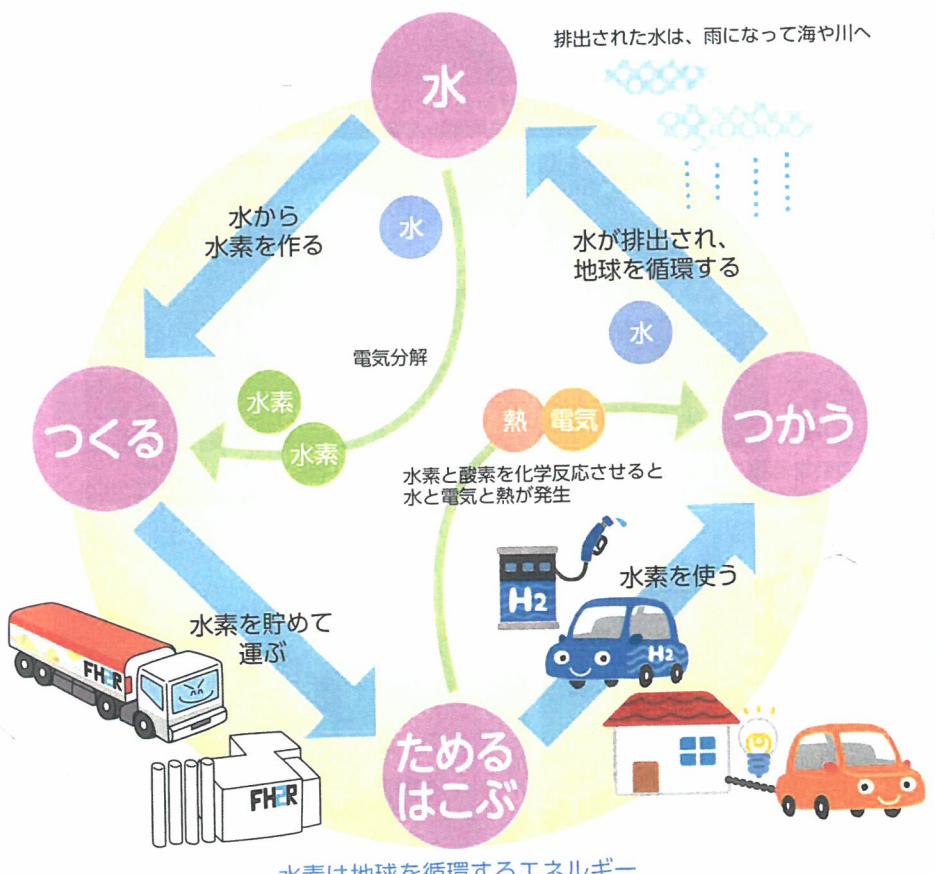
## 水素を感じよう

### 水素ってなに？

水素は「水の素」という意味で、酸素と一緒に水になります。

水素原子は宇宙で1番多い元素で、ほとんどの水素は水として存在しています。

地球にある水の量は、およそ14億km<sup>3</sup>といわれています。



### どうして水素に注目したの？

水を電気分解することで水素が生成され、水素と酸素を化学反応させることで、水と電気と熱が発生します。使用する時に二酸化炭素を排出しない環境にやさしい水素エネルギーが世界で注目されています。

### どうして水素は循環型再生エネルギーと呼ばれるの？

水素をエネルギーとして利用した際に、排出された水が蒸発し、雨になって海や川に還り、地球を循環します。

商業、工業、農業、水産業、交通、教育、福祉など、あらゆる分野が水素で繋がることで  
**水素社会・ゼロカーボンシティ**を実現する!

**EMS**とは…  
エネルギー・マネジメントシステムの略。  
水素の利用状況を把握することで、効率よく水素供給することができます。

**FC**とは…  
燃料電池(FuelCell)の略。  
水素と酸素を反応させることで、電気や熱を生み出します。

※イラストはイメージです。



第26回

広報しんちー〇二一年八月号より

# 新地町少年の主張大会

主催 新地町青少年健全育成町民会議  
共催 “社会を明るくする運動” 新地町推進委員会



寺島 陽向さん  
新地小 6年



早川 亞亨さん  
新地小 5年



堀江 悠聖さん  
福田小 6年



荒 日和さん  
福田小 5年



渡部由和理さん  
尚英中 3年



阿部 瑞樹さん  
尚英中 2年



持立 海子さん  
尚英中 1年



猪狩 和眞さん  
駒ヶ嶺小 6年



太田 凜子さん  
駒ヶ嶺小 5年

「思いやりのかたち」

秀賞作品を掲載します。

次ページより各部の最優秀賞に堀江悠聖さんの「わたしたちの町はわたしたちがつくる」、優秀賞に猪狩和眞さんの「進んで学ぼう」が選ばれ、中学生の部では、最優秀賞に阿部瑞樹さんの「視点を変えて」、優秀賞に渡部由和理さんの「思いやりのかたち」が選ばれました。

小学生の部では、最優秀賞に堀江悠聖さんの「わたしたちの町はわたしたちがつくる」、優秀賞に猪狩和眞さんの「進んで学ぼう」が選ばれ、中学生の部では、最優秀賞に阿部瑞樹さんの「視点を変えて」、優秀賞に渡部由和理さんの「思いやりのかたち」が選ばれました。

## 中学生の部

**最優秀賞**

尚英中学校2年 阿部 瑞樹

**「視点を変えて」**

性と思いこみ、このエピソードを聞いていませんでしたか。

僕たち日本人は、小さな頃から「男は男らしく」、「女は女らしく」と言われます。力仕事は男子、丁寧な作業は女子と、学校生活でも割り振られることがあります。僕も疑問を持たずにいました。でも、人の個性は様々のはず。危険に挑むチャレンジ精神が豊かな女性もいれば、細かい作業を好む男性もいます。知らず知らずのうちに、「男性はこう」「女性はこう」という「決めつけ」をしていないでしようか……。

「決めつけ」の一例として、僕の体験談を聞いてください。以前の事です。僕はあります。運動が苦手、勉強が得意、我慢が足りず怒り

優秀な脳外科医とは、少年の母親だつたのです。皆さん。「優秀な脳外科医」は男性と思いこみ、このエピソードを聞いていませんでしたか。

僕たち日本人は、小さな頃から「男は男らしく」、「女は女らしく」と言われます。力仕事は男子、丁寧な作業は女子と、学校生活でも割り振られることがあります。僕も疑問を持たずにいました。でも、人の個性は様々のはず。危険に挑むチャレンジ精神が豊かな女性もいれば、細かい作業を好む男性もいます。知らず知らずのうちに、「男性はこう」「女性はこう」という「決めつけ」をしていないでしようか……。

「決めつけ」の一例として、僕の体験談を聞いてください。以前の事です。僕はあります。運動が苦手、勉強が得意、我慢が足りず怒り

たでしょう。しかし、その言葉に僕は、深く傷つきました。傷ついた理由は二つです。まず、僕自身も自覚している自分の非力を、面と向かって指摘してきた思いやのなさです。非力の人は、自分でもよく分かっています。しかし、やすやすと改善できることもあります。もう一つは、先ほどの脳外科医のエピソードのように、男女はこうあるべきという「決めつけ」が前提にあり、自分を否定されたからです。僕が女性だつたら、「あなたは非力だ」という言葉を投げつけられることはなかつたはずです。私も他人の欠点を嘲笑つて馬鹿にし、からかう事がありませんでした。自分の弱さを隠したい一心で、自分より弱い人を嘲笑つていたのです。そんな自分が嫌いでした。

僕たちは日本人は、小さな頃から「男は男らしく」、「女は女らしく」と言われます。力仕事は男子、丁寧な作業は女子と、学校生活でも割り振られることがあります。僕も疑問を持たずにいました。でも、人の個性は様々のはず。危険に挑むチャレンジ精神が豊かな女性もいれば、細かい作業を好む男性もいます。知らず知らずのうちに、「男性はこう」「女性はこう」という「決めつけ」をしていないでしようか……。

「決めつけ」の一例として、僕の体験談を聞いてください。以前の事です。僕はあります。運動が苦手、勉強が得意、我慢が足りず怒り

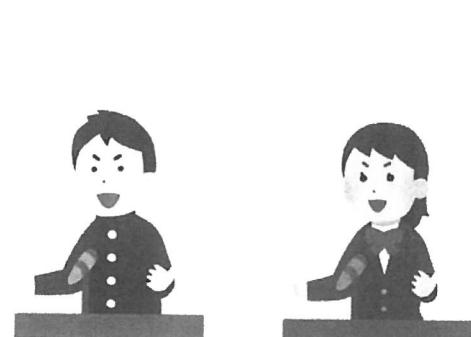
つぽいなど、欠点といつてもいろいろあります。誰でも、欠点の一つや二つはあります。でも、欠点の一つや二つは自覚している欠点を克服したいと思っているはずです。ですが、そう簡単ではありません。しかし、そんな時僕はある言葉を知ったのです。「欠点は視点を変え、裏返せば長所となる」と。例えば、「おせっかい」という言葉は、欠点なのでしょうが、「面倒見が良い」と考えれば長所です。「単純だ」と言われば欠点でも、「素直」と言われば長所です。欠点と思われるものは、実は「決めつけ」でいるだけです。個人の個性の一つであり、それが長所となり得るといふことです。都合のいい解釈だと思うかもしれません。

皆さんも、様々な「決めつけ」を捨て、視点を変えて周囲を見渡してみませんか。今まで気づかなかつたことに気づき、見えなかつたことが見えてくるかもしれません。それは、自分の可能性を広げていくことにつながるでしょう。

でも、僕は「決めつけ」を捨て、自分の欠点も長所と考へると、気が楽になります。僕が「非力」と言われたことも「スマートで繊細だ」と考えれば、欠点とはなりません。そう思つてからは、誰かの欠点が目に付いても、馬鹿にしてはな

う言ったのでしよう。あまりにひどい怪我で、手術不可能だったのか……。はたまた、近所の顔見知りの少年だったのではないか……。いえいえ、実は、

「決めつけ」の長所です。僕の体験談を聞いてください。以前の事です。僕はあります。運動が苦手、勉強が得意、我慢が足りず怒り



「ショパンの音楽ほど完璧なものはない」

指揮者フルトヴェングラー

鈴木 實

五年ごとに、ポーランドのワルシャワで開催されるショパン国際ピアノ・コンクールにおいて日本人ピアニスト二人が入賞したこと、令和三年十月下旬に新聞各紙が報じた。

反田恭平さん（二十七才）二位 小林愛実さん（二十六才）四位 反田さんの二位は一九七〇年の内田光子さんと並ぶ日本人最高位なのだとそうです。

ピアノ音楽の愛聴者の一人として私は非常に嬉しく、過去の同コンクール入賞者のボリーニや、アルゲリッヂのように世界最高の演奏者として活躍されることを心から期待します。

このニュースが報じられた時期、コロナ禍の自宅自粛の折から読書三昧に過ごし、少し古くなりましたが、磯村尚徳さんの名著

【あの時、世界は・戦後史の旅  
～I・ワルシャワの墓標 N.H.K.】  
を読み返していました。

ショパンの母国ポーランドほど周囲の大団から蹂躪された歴史

を持つ国はなく、胸が痛みます。ちょっと脱線しますと・・・

《ポーランドは、十四世紀から十六世紀までは、大いに興隆し、中欧の大強国として、栄えました》

が、十八世紀の終わりごろ、

◎ エカテリーナ二世のロシア  
◎ フリードリッヒ二世のプロイセン

◎ マリア・テレサのオーストリア

の三大国によって三度にわたる分割支配を受け、地図の上から消えて終いました。

民族の独立と国家の再建を願う

日本人に親しまれているショパンの「エチュード・革命」も、一八三一年、支配者ロシアに反抗して革命を起こし、鎮圧されたワルシャワ市民に捧げられた

に終わりました。

日本人に親しまれているショパンの「エチュード・革命」も、

早く收拾されることを祈ります。また、

本文標題の言葉は・・・二十世紀最大のドイツの指揮者

ラード（一八八六年～一九五四年）

が、ショパンの後期作品を指した言葉と云われています。

フルトヴェングラーはベルリン

・フィルやウィーン・フィルハ

ーモニー交響楽団を世界最高水準に育て上げました。

ベートーヴェン、ブラームス、

ワーグナーの作品を同氏が指揮

演奏したレコードは逝去後六

七年経た今も最高の演奏（解釈）

として世界中の音楽爱好者に愛聴されています。二十世紀後半

に活躍したヘルベルト・フォン

・カラヤンは同氏の後任者です。

ポーランド人の運動と抵抗の歴史はそこから始まり、その悲願

は、二十世紀に入り第一次世界大戦が終わるまで、果たされる

ことはありませんでした。

この間、革命と自由の国フラン

スに期待して、ナポレオンのモスクワ遠征に、十万近いポーラ

ンド将兵が参加しましたが挫折

に終わりました。

全世界が努力、協力して一刻も

早く收拾されることを祈ります。

なお、時も時、本文執筆中の今、

ポーランドの隣国ウクライナが

令和四年二月二十四日、ロシアによる理不尽な侵攻を受けて、

世界中の人々がウクライナ国民の安全と同国事故中のチエルノブイリ原子力発電所の動向に心

を痛めている最中です。

ド・マリア・テレサのオーストリア

の分割支配を受け、地図の上から

消えて終いました。

民族の独立と国家の再建を願う



ドラクロワの描いたショパン像（複写） ワルシャワ・ショパン協会蔵。1838年7月頃、ドラクロワはショパンとサンドが一緒に肖像画をスケッチしたらしいが、1865年から73年の間に2つに切りわけられた。ショパンの肖像画のオリジナルはルーブル美術館にある。

・カラヤンは同氏の後任者です。

ものでした》。

私の蔵書の、新潮文庫カラー版作曲者の生涯“ショパン”に、たくさん的人がエッセイを書いているので、その一つをご紹介します。

### 【そして音楽だけが残った】

若桑みどり

(日本美術史学者一〇〇七年没)

ショパンの音楽について、私はしろうとだが、ひとつのあざやかな記憶をもつてている。それは、高校の国語の時間に、同級生がつくった、次のような俳句である。

「ラジオ、ショパン　しづかに秋のへやに聞く」

奇妙なはなしだが、この句をつくった同級生は、ほとんど印象ものこさぬ平凡なひとで、もちろん名まえさえもおぼえていない。それに、名人の名句に感動するならともかく同級生の、しかも国語の時間につくった句をずっとおぼえているなんて妙なはなしだ

(読み人しらずのうたとはこんなものなのだろうか)。私が感動したのは、この句の中の「秋」ということばである。

それに「ラジオ」というのもい

い。ラジオから流れてくるところの偶然性は、コンサートとはまるでちがつた「時」をつくり出

す。なぜ「秋」がいいかというと、私がショパンの音楽に感じるのは、いつも明るさだからで

ある。それは、いのちの終わりを知っているあの明るさであり、死期を知つた虫のように秋にふさわしい。

ショパンの結核がどれほど当時の人々を怖れさせていたかは、

今ではとうてい想像もできない。彼は結核であることを理由に、初恋の人マリア・ヴォジンスカとの結婚をことわらっている。

彼の音楽的天才や美しさに憧れる女はいくらでもいただろうが、

彼の死までをふくめた存在その

ものをうけいれる女はいなかつただろう。

ジヨルジュ・サンドは、

一八三八年から九年間ショパン

の面倒をみた。

ドラクロワは一八三八年に、

ショパンのピアノに聴き惚れる

サンドの肖像を描いたが、

のちにこれを別々の絵に切りは

なした。サンドがショパンの世

話をしたのは、かれの天才のた

めであろう。

ショパンがサンドに心を傾けたのは、サンドが社会革命家としてポーランドの反乱に理解を持ち、母性的な愛を持ってかれを

迎えたためであろうが、

しかし男と女のことは誰にもわからぬ。

(一九一五年～一九九七年)

ウクライナのジトミル生まれ一九六〇年西側での演奏許可

エミール・ギレリス

(一九一六年～一九八五年)

ウクライナのオデッサ生まれ

モスクワ音楽院卒ピアニスト

一九四七年から西側演奏旅行

（一九二〇年～二〇〇一年）

ウクライナのクレメネツ生れ

一歳二ヶ月時米国へ移住

サンフランシスコ音楽院

惨状は時々刻々と世界に伝わつております。

戦火が広がり、市民らは殺され、逃げ惑い、息を潜め、万感の想いで祖国を離れる――。

翻つてウクライナは、世界一流の

音楽家を多数輩出して来ました。

私の尊敬する（下記）演奏家の

祖国が、戦火で破壊されつづあり、

ウラディミール・ホロヴィツ

（一九三〇年～一九八九年）

ウクライナのキエフ生まれ

キエフ音楽院卒 ピアニスト

一九二八年以降米国で活躍

スヴヤトラフ・リヒテル

（一九一六年～一九九七年）

ウクライナのジトミル生まれ

モスクワ音楽院卒ピアニスト

一九四七年から西側演奏旅行

（一九二〇年～一九七四年）

ウクライナのクレメネツ生れ

一歳二ヶ月時米国へ移住

サンフランシスコ音楽院

ヴァイオリニスト

（一九〇八年～一九七四年）

ウクライナのオデッサ生まれ

オデッサ音楽演劇学院

ダヴィッド・オイストラフ

（一九五〇年～一九七四年）

ウクライナのオデッサ生まれ

ヴァイオリニスト

井上靖が小説「黒い蝶」に。

（会長　いわき市平豊間出身）

(本紙2頁関係写真)

双葉町合併七十周年記念式典

表彰状授与式より

右..鈴木實当会長

左..徳永修宏副町長

JAスマイルの皆様による  
大正琴の演奏

第二部の記念アトラクションは  
正午より開まり、  
原田直之スペシャルゲストと  
お伴の方の熱演。



土曜日の夕刻とあって  
乗客の見えない双葉駅ホーム  
(無人駅・単線)



昨年六月に策定した復興まちづくり計画（第三次）施策の柱で  
ある住宅建築が加速していた。

2022/11/05

# 復興状況を確認 東京福島県人会 双葉町を訪問



JR双葉駅西側を視察し、復興の現状に理解を深める会員

東京福島県人会は21日、東京電力福島第一原発事故に伴う特定復興再生拠点区域（復興拠点）の避難指示が解除された双葉町を視察し、まちの復興の現状に理解を深めた。

安斎隆会長（二本松市出身）ら会員約40人が訪れた。町秘書広報課の橋本靖治課長の案内を受け、JR双葉駅や駅西側にある町営住宅「駅西住宅」などを見て回った。町役場新庁舎に伊沢史朗町長を表敬訪問し、新たなまちづくりに関する説明を聞いた。

一行は22日、いわき市に避難している双葉町民でつくる自治会「いわき・まごころ双葉会」と、市文化セン

## 歌やマジックで交流

東京県人会は22日、いわき市文化センターで、市内に避難する双葉町民と交流した。会員が歌やマジックなど多彩なステージを繰り広げた。県人会が毎年行っている母県訪問の一環。8月に双葉町の全町避難が解消されたことを受け、同町の避難者自治会「いわき・まごころ双葉会」の12月例会として開催。会場には町民約80人が集まった。いわき市出身のソプラノ歌手鈴木葉子さんと歌手丘なる実さん、平田村



出身の作曲家・歌手矢吹和彦さんらがマイクを握り、会場を盛り上げた。県人会副会長でいわき市出身の鈴木実さんがマジックを披露すると盛んな拍手が贈られた=写真。会員は21日、双葉町で伊沢史朗町長を表敬訪問し、町職員の案内で復興状況を視察した。

## いわき・まごころ双葉会 12月例会次第

令和4年12月22日(木) いわき市文化センター

10:00 開会	開会挨拶	いわき・まごころ双葉会 会長 横山勝朗 様
	来賓挨拶	双葉町町長 伊澤史朗 様
々		双葉町議会議長 伊藤哲雄 様
々		東京福島県人会会長 安斎 隆 様
々		東京福島県人会副会長 鈴木 實 様
々		東京福島県人会訪問団長 鈴木葉子 様
々		双高同窓会東京支部(東京梅壇会)会長 鈴木孝光 様
々		いわき市薄磯自治会会長 大河内喜雄 様
10:30 開演	矢吹 和彦 様(演歌)と 岬 花江 様(演歌)のジョイントショー	
① アディオス・ロ・アモ	① 室戸のあたりは	
② イヨマンテの夜	② じゃんがら夢やどり	
③ ゴッドファーザー	③ 一人の手	
10:55 丘 なる実 様(演歌)		
① 赤い雀のブルース	② 噴きのキリギリス	③ 福島の女
11:15 鈴木 實 様(マジックショー)	双葉会ご婦人のご協力をぜひ!	
11:40 鈴木 葉子 様(ソプラノ歌手)	ピアノ伴奏 井田 康子 様	
① Bye Bye birdie	② あなたの上には花だけが	
③ 白月	④ この道	⑤ いのちの歌 その他
12:20 皆んなでクリスマスソングを!	① ジングルベル	② 圣しこの夜
12:30 終了挨拶	いわき・まごころ双葉会 事務局長 大橋庸一 様	

2022年（令和4年）12月22日（木曜日）福

島

民

報

# ふくしまは負けない明日



(前ページより)

タードで初の交流会を開く。市内出身のソプラノ歌手鈴木葉子さんらが出演するコンサートなどを催す。

前ページ ハートマークの

記事は、福島民友新聞  
令和四年十二月二十六日

写真（上）

双葉町避難者の皆さん  
お待たせしました！

写真（下）

鈴木葉子マジックショー  
フィナーレは出演者  
全員でクリスマス・ソング

当会が諸団体と連携し県外避難者支援を開始した記念の写真。

二〇一年三月三十日、さいたまスレーパーアリーナ四階の役場で、井戸川克隆町長（当時）に生活資金三百五十万円を贈られる（左から三人目）の井橋吉一



波立海岸の日の出

県内にある七九ロータリーの統括者）。この程、井橋吉一様にはまだおり三十八号をお送りのしました處、拝見されて双葉町の帰還を大変喜ばれ、絵画贈呈分として十万円、双葉町を含む避難者の方々支援として二十万円併せ三十万円を当会へご寄付下されました。深く感謝申し上げ、ご趣旨の通り使用させて頂きます。  
有り難うございました。

頁	ご執筆	寄稿文の題名	頁	ご執筆	寄稿文の題名
1	会長 鈴木 實	初春のご挨拶	11	広報 なみえ	なみえ水素タウン構想
2	出席者 鈴木實	双葉町合併70周年式典	12	広報 しんち	新地町少年の主張大会
3	同 上	同 上	13	同 上	中学生の部 最優秀賞
4	前代表 鈴木實	13回ふるさとCかながわ	14	鈴木 實	ショパンの音楽ほど
5	同 上	同 上	15	同 上	完璧なものはない
6	会長 鈴木 實	吉田房人幹事長の逝去を悼む	16	写真撮影 鈴木	双葉町式典アトラクション
7	鈴木 孝光	双葉町・双葉高校の復活を	17	同 上	同上 駅西・住宅建設
8	広報 とみおか	想い出の場所、町の様子	18	東京福島県人会	東京県人会 双葉町視察
9	同 上	同 上	19	同 上	いわき双葉会と交流
10	広報 なみえ	水素で町の再生と創生へ	20	各担当	感謝欄、編集後記、目次

東京福島県人浜通り会		預貯金口座
本部住所	〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東2-31-9 鈴木 實方	① 郵便振替貯金 00250=9=130750 (名儀) 東京福島県人浜通り会
電話 & FAX	045-365-2622	② みずほ銀行(0001)三ツ境支店(367) 普通預金 1625675 (名儀) 東京福島県人浜通り会
携帯電話	090-6008-0357	
メールアドレス	hama-ayumu-minoru @ docomo. ne. jp	